

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 自治体職員協力交流事業
-------------------	--------------------------

区分	番号	名 称	
章	6	担いあうまちづくり	
節	2	交流によるまちづくりの推進	
施策	2	海外との交流の場と機会の拡大	
小分類	1	地域国際化の推進	
主要な施策	1	国際交流の推進（海外友好都市）	
事務事業番号	001	事務事業コード 62211001	事業開始年度 平成 9 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	自治体職員協力交流事業費
------	------	------------	--------------

部 名	総務部	グループ名	政策推進室企画 G
-----	-----	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>国際協力の取組みを一層推進するため、海外の地方自治体等の職員を「協力交流研修員」として受け入れ、地方自治のノウハウを習得させるとともに、研修員と市民、職員の交流を通して地域の国際化を推進することを目的とする。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <p>（財）自治体国際化協会の斡旋により海外の自治体等の職員を受け入れ、登別市において研修を行うほか、語学講座や国際理解講座、市民との交流等を行う。 （特別交付税による財源措置あり）</p> <p>平成 2 2 年度は、中国天津市から研修員を受け入れた。          ・人 員：1 名          ・期 間：6 ヶ月（1 ヶ月は、全国市町村国際文化研究所にて研修、本市滞在は 5 ヶ月）          ・研修分野：観光行政、一般行政          ・その他：視察研修、市民及び市職員向け語学・文化講座の実施、国際理解講座での講師役、学校での児童生徒との交流を行う。</p>
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>受け入れた研修員に地方行政のノウハウを習得させるなど、諸外国の地方行政への貢献という国際協力が図られているとともに、登別市における地域の国際化の推進に寄与している。 また、帰国時にふるさと大使を委嘱することで交流の架け橋となり、登別観光行政の P R にもつながっている。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> <p>自治体職員協力交流事業実施要綱[平成 7 年 1 1 月 1 日付け自治国第 1 2 0 号通知] （本事業は、総務省及び（財）自治体国際化協会が支援する制度として創設された）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	研修日数	日	目標値	185	185	185	185	185
			実績値	179	/	/	/	/
	市民等との交流回数	回	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	23	/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	1,929	2,320	2,286	2,286	2,286	6,858
合 計			1,929	2,320	2,286	2,286	2,286	6,858
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	2,655	2,726			
		嘱 託 員	千円	470	507			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		3,125	3,233			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 国際観光レクリエーション都市を宣言し国際交流を推進している登別市において、国際協力や地域の国際化の推進を図る本事業を市が主体となって実施していくことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 海外からの観光客が増加していることを受け、登別温泉のホテル・旅館からの通訳や翻訳の依頼にも対応している。また、小学校や市民団体等から講師としての派遣要請があり、研修員と市民との交流は定着してきている
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？ 市としての国際協力や国際貢献に加え、研修員と市民や国際交流団体との交流の場を設定することにより、成果の向上が見込めると考える。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？ 研修員が研修に必要な旅費、滞在費等を計上しているため、コスト削減は難しい。

担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	研修員と市民、職員の交流により国際理解が深められていることや中国など東アジア方面からの研修員を受け入れることで観光PRに貢献するとともに、本事業を通して、観光をテーマとする研修員の研修目的を達成させ人づくりの面での国際協力を担っていく。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）